

## 2. 沖縄ブロックの目指すべき将来の姿

沖縄ブロックの目指すべき姿とは、沖縄振興計画にも謳われているように、アジア・太平洋諸国に近接しているという「地理的特性」、世界に誇れる美しい自然・景観を有するという「自然的特性」、各地域が独自の個性的な風土や文化を有するという「地域的特性」を踏まえながら、自立的かつ持続的発展のための基礎条件を整備し、豊かな地域社会を形成するとともに、わが国ひいてはアジア・太平洋地域の発展に寄与する地域として整備を図り、「平和で安らぎと活力のある沖縄県を実現する」ということである。

ここでは、この目指すべき将来の姿の実現に向けて、第1章で述べた様々な課題の解決に取り組み、必要となる社会資本整備を重点的・効率的に実施していくための具体的内容を示すこととする。

### (1) 自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり

県内及び国内外との連携を強化し、産業経済の振興や交流を支える「陸・海・空」の総合交通体系の整備を進めるとともに、企業の立地を支援するための関連社会資本の整備を進める。

また、質の高い観光・リゾート地の形成に向け、主要観光地などへのアクセス道路、海洋性リゾート拠点、クルーズ船に対応した港湾施設、自然と文化財を生かした公園などの整備を進める。

### (2) 安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり

人口の増加や生活水準の向上、経済の発展などに伴い、今後とも増加が見込まれる水需要に対応するため、安定した水資源の確保やその有効利用を進める。

また、自然災害や事故及びテロから住民の生命と財産を守るため、浸水対策、高潮対策、津波対策、土砂災害対策、渴水対策、風対策及び交通に関する安全対策などを進める。

### (3) 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出

河川、海域の良好な水質の保全を図るとともに、河川や沿岸域及び森林地域などの豊かな自然環境や地域環境の保全・再生・創出を進める。

また、廃棄物のリサイクル、廃棄物処分場、静脈物流関連施設の整備、公共交通機関の利用促進など環境負荷の低減に向けた取り組みを進める。

### (4) 特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり

沖縄特有の風土や文化を生かし、快適で住みよい地域づくりを支援するため、既成市街地の改善や生活基盤などの整備を進めるとともに、ユニバーサルデザイン等を促進する。

また、離島における定住は国土の保全にも繋がることから、暮らしやすい環境づくりを進める。

さらに、事業の実施及び施設の管理にあたっては、住民参加を積極的に進めると共に、事業の迅速化、設計等の最適化等に関するコスト縮減を図る。

### 地理的特性

アジア・太平洋諸国に  
近接している

### 地域的特性

各地域が独自の個性的な  
風土や文化を有している

### 自然的特性

世界に誇れる美しい  
自然・景観を有している

### 課題

自立的発展を支  
える産業の振興、  
国際交流拠点の  
形成等

自然災害や事  
故・テロに対する  
安全性の確保等

沖縄特有の自然  
環境との共生や  
循環型社会の形  
成等

市街地整備や離  
島の生活環境基  
盤の整備など、安  
らぎと活力のあ  
る地域の形成等

### 将来像

## 平和で安らぎと活力のある沖縄県の実現

### 沖縄ブロックの社会资本整備に係る地域の将来の姿

#### 活 力

自立型経済の  
構築と持続的  
発展を支える  
基盤づくり

#### 安 全

安全・安心な  
生活の確保と  
災害に強い  
県土づくり

#### 環 境

沖縄特有の  
豊かな  
自然環境の  
保全・創出

#### 暮 らし

特性を生かした  
安らぎと活力  
ある地域づくり

- 幹線道路等の整備によ  
る道路交通の円滑化
- 空港・港湾の整備によ  
る人・物の交流の拡大
- 国内外企業の立地支援
- 質の高い観光・リゾー  
ト地の形成

- 安定した水資源の確保
- 水害等災害に対する安  
全性の確保
- 陸・海・空の交通に対  
する安全性確保

- 河川・海域の水質保全
- 自然環境・地域環境の  
保全・再生・創出
- 廃棄物の循環再利用
- 公共交通機関の利用促  
進

- 市街地の再構築
- ユニバーサルデザイン  
に基づく地域づくり
- 離島における交通や生  
活基盤等の整備
- 住民参加による公共施  
設の整備管理
- コスト構造改革